

森林施業技術研修

森林技術総合研修所

平成27年8月4日

夏真っ盛りの8月上旬、気温30度を超える真夏日に森林技術・支援センターが試験研究を行っている試験地に「森林の多面的機能の発揮を重視し、流域の特性や目標林型に応じた森林の管理経営を行うため、多様で低コストな森林施業に関する最新の知識及び技術を習得させ、森林施業技術を的確に指導できる技術者を育成する。」研修目的で森林技術総合研修所で研修中の地方公共団体職員及び各森林管理局職員25名が中型バス2台で現地研修に来ました。

筑波山複層林概要説明



●筑波山複層林試験地では、複層林設定に至った経緯や複層林全体の概要説明、各試験区域ごとに設定内容の説明を行い、研修生同士のディスカッションをする中で複層林造成の難しさを実感してもらったのではないかと思います。最後に設定変更した長期育成循環施業林(モザイク林)見て大沢試験地に異動。



点状400本区概要説明

水辺林再生などの概要説明



●大沢試験地では、水辺林の再生、針葉樹人工林への広葉樹導入試験などの概要説明を行いました。特に、溪畔林再生のための取組には興味津々でした？

車両系高性能林業機械の概要説明



造林技術の概要説明

●最後に平成25年度から行っているコンテナ苗を用いた一貫作業システム実証試験地での研修。冒頭センターから概要説明を行い、その後、森林総合研究所の宇都木氏から造林技術について、美和木材協同組合(請負事業体)から車両系高性能林業機械での搬出から地拵えまでの概要説明をしていただきました。

キツツキ類の営巣木の確認



関東森林管理局・森林技術・支援センター